

あきんど あきんど
行動する商人・発言する商人を目指して!



あきんど
あきんど
あきんど

発行所 矢板市商工会
矢板市本町2-18
TEL 43-0272
FAX 43-1767
編集 広報委員会
印刷 共栄印刷(有)

「選択と集中 地域防災計画確立と街なか活性化に意欲」



新春賀詞交歓会 開催
平成24年1月6日
矢板イースタンホテル



■当会のホームページアドレス (URL)

<http://yaita.shokokai-tochigi.or.jp>

■当会のEメールアドレス

yaita_net@shokokai-tochigi.or.jp

平成二十四年新春賀詞交歓会開催

地域防災計画確立と高齢化社会へ優しい街づくり 遠藤矢板市長

矢板市と矢板市商工会共催の新春賀詞交歓会が平成二十四年一月六日、県・県議会議員・市役所・市議会議員・各種団体・事業所などから百六十一名が出席し、矢板イースタンホテルにて盛大に開催されました。



▲挨拶をする遠藤市長

始めに遠藤矢板市長は、「新年早々非常に嬉しいニュースが飛び込んできました。私立矢板中央高等学校サッカー部が全国高校選手権大会ベスト8まで勝ち進みました。このことは、矢板市の名前を全国的に知らし占める良いきっかけとなる大変嬉

しいニュースでありました。昨年を振り返ってみると未曾有の震災により、人々の心・社会に大きな傷跡を残してしまいました。また、福島県の原子力発電所の事故についても収束のままならぬまま、新年を迎えることとなりました。矢板市を取り巻く状況は非常に厳しいものがあります。長引く景気の低迷、あるいは震災の影響で歳入の見通しが非常に厳しく、これまで以上に選択と集中に徹し、優先順位をしっかりと定めて矢板市の街づくりに取り組んで行きたいと思っております。一つ目は、地域防災計画をしっかりと見直し、市民それぞれが安心して生活できる状況にするため、自主防災組織の確立いたします。二つ目は、放射能汚染の問題であります。市民の多くが健康に不安を訴えております。矢板市は放射能汚染特別調査地域の指定を受けています。この一月から施行された特措法に基づき土壤



汚染の除染計画をしっかりと立て取組み、市民の不安を少しでも払拭していきたい。三つ目は、高齢化社会への対応で、間もなく矢板市も高齢化率が二十四%に達しようとしていきます。住み慣れた場所で心豊かに生きていくのは誰しも願っています。地域の皆さんが、互いに助け合い支え合い、本当にこの矢板に住んで良かったと思える地域を創り上げていきたい。そして、街の活性化を図る一つとしてスマートICの設置事業にも取り組んで行きたい。木幡土地区画整理事業をさらに進めるとともに、定住促進事業を通じて矢板市の人口増事業へも



取り組みたい。片岡駅の橋上化をはじめ片岡駅周辺事業へも取り組まなければなりません。また、教育を大事にする街を目指し、小中学校の耐震補充を継続的に進めていくと同時に、この四月からは矢板東高等学校付属中学校が開校いたします。子供達の学力増強のための取組みにも力を入れて行きたい。最後に、街を動かすのは人の力であり、街にも心があると思えます。市民皆さんと行政が互いに手を携えて、「市民力」「職員力」ともに発揮して、この矢板市をそれぞれが自分の街として誇れる街にしたい。今年一年が、皆様にとっても、矢板市にとりましても実りの多い年になるよう皆様方のご支援ご指導をよろしくお願ひしまして、賀詞交歓会のご挨拶とさせていただきます」と挨拶されました。

ご存知ですか？
「中退共」の
退職金制度
なら、掛金
に国の助成
が受けられ
ます。

国の制度だから
安心・確実！

- 新規加入や掛金月額を増額する場合、掛金の一部を国が助成します。
- 掛金は全額非課税で、手数料もかかりません。

外部積立型だから
管理が簡単！

- 従業員ごとの納付状況や退職金試算額を事業主にお知らせします。

◎パートさんもご加入
いただけます。

◎適格退職年金制度
からの移行先です。

お気軽にお問合せください

(独)勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部
☎03-3343-6105(代表)
☎03-3343-6100

街なか活性化への具体的事業に着手！
前田商工会長

続いて、前田商工会長は、「改めてまして、皆様新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。この賀詞交歓会は、官民一体となって矢板市の賀詞交歓会にしよう」と始まり今年で三年目となります。



▲挨拶をする前田商工会長

さて、昨年三月十一日東日本大震災があり、東北地方をはじめとして東日本のあちこちの多くに被害をもたらしました。もちろん矢板市も甚大な被害を受けました。未だに我々の仲間が、元の生活に戻れないという状況に置かれているという事は、全国的に多くの悲しみをもたらせております。

商工会においても、昨年五月に実施予定であった「やいたつ つじまつり」を残念ながら中止の判断をして自粛しました。その後の事業につきましては、やはり「元気を出さなければならぬ」という思いで全て開催をいたしました。その中でも特に一〇月開催の「やいたつ花火大会」は、なかなか実施が難しいのですが、と言われておりましたが、沢山の方々から「是非とも開催して欲しい」「あの花火は矢板を元気にする」との声や要望があり、実行委員会ともよく協議し熟慮した上で開催の運びとなりました。秋の澄んだ夜空に打ち上げられた「花火」は、我々に勇気と元気をくれました。このことで、たくさんの方々の方から大変喜ばれ、盛大に実施することができました。また、昨年は矢板市から補助を受け実施した一〇%プレミア付商品券「つつじの郷やいたつ共通商品券」は一億一千万円での発行で販売わずか一日半で完売

し、これも大変大きく活気のあふれる事業であり、好評を博しました。しかし他方で、矢板市内の空き地や空き店舗が多すぎることに「矢板は元氣だ！」と言われない要因になっております。これを早急に何とかしなければと「街なか活性化委員会」構成委員一〇名で行政からも委員に入ってもらい、現在検討を進めているところであります。中間報告ではあります。昼間はご年配の方の集まる場、夜は若者が集まる場となるようなサロンの役割の場を提供しようという案も出てきています。

また、栃木県商工会連合会で推奨している「軽トラ市」は、農業者や商工業者が地域の特産品や自慢の品々を「軽トラ」に乗せて販売する事業で、矢板市の街中の道路を歩行者天国にして軽トラを並べて販売する「市」として月に一回ペースで開催できないものか検討しているところであります。今年辰年。昇り龍の如く「発展・発展！」と行くよう、市と商工会がスクラムを組んで矢板市の発展のために頑張ってください。今後とも皆様方のご支援ご協力をお願いいたします」と挨拶した。

「軽トラ市」～活性化に向けて視察～



矢板市商工会商業部会（代田有史商業部長）では、栃木県商工会連合会で推奨し実施している「軽トラ市」を、平成24年1月11日、西那須野駅前桜通り（西那須野商工会商業部会主催）にて開催されたものを視察しました。当日は、寒い北風のなか、理事10名・職員2名合計12名にて現地へ出向き、西那須野商工会佐藤商業副部長から開催に至る経緯等を聞き取りました。同会場にて昔から開催されている「花市」及び「富くじ」が開催されており、多くの人出で賑わっていました。当部会では、今後もこの研修で得た情報を基に更なる調査・研修を重ね、実施を検討していきます。

県火災共済制度
中小企業者のための県火災共済

あなたの安心をお手伝い！商工会がつくった
会員のための制度

- 特色① 掛金が安い 営利を目的としないので掛金が安く、経費の節減に役立ちます。
- 特色② 支払いが早い 万一の場合は直ちに査定を行い、簡単な手続きで共済金を支払います。
- 特色③ 剰余金は契約者に還元 協同組合組織ですので、剰余金は利用分量配当金などで契約者に還元
- 特色④ 質権設定ができる 融資物件の火災共済加入もできます。

商工会女性部視察研修・石巻市へ支援物資届ける

支援物資 冬物毛布・衣料品等商工会議所へ



▲女性部で集め届けた支援物資

矢板市商工会女性部（宮崎征子部長）では、平成二十三年十一月十一日に女性部視察研修として、東日本大震災にて甚大な被害を受けた宮城県石巻市において研修を行いました

この研修は、東日本大震災後の復興支援事業を視察すると共に、実際の被災地の今を見たいとの部員からの要望があり、石巻商工会議所へ視察研修の打診をしました。その結果、同会議所より快く視察研修を受け入れていただき、実施がすることが出来ました。

当日は、宮崎女性部長・八木澤青年部長他女性部員十四名と職員二名の合計十八名にて石巻市の現地へ向かいました。女性部において予め支援物資として冬に向けた防寒具や毛布を集め、バスへ詰め込み石巻市へ持参しました。お忙しい中、対応して下さったのは、石巻商工会議所の高橋専務理事と伊藤中小企業課長のお二人です。石巻市の概要や被害の状況及び三月十一日の震災当日や直後の被害の状況等の話がありました。

高橋専務理事は、「行政機関も被災し、現在でも行政機能が麻痺状態にある。震災復興支援事業の全てが後手後手に回っている。我々の関係する商工業の復興支援業務は自分の手で行うぐらいのつもりで日々の業務にあたっており、直接国や県へ要望しているのがあります」

佐藤中小企業課長は、「今でも現場では、まだまだ問題点が多い状況にあります。想定外の仮設住宅の入居数の減少やそれ



▲高橋専務理事と佐藤課長から被災状況の説明

を解消する目的で復興支援業者への宿泊利用に当てるよう要望しています。しかし、行政側からは、目的外使用は認められないとの理由で難しいという返答があるなど問題が山積しています。これからの復興について

佐藤課長は、「復興住宅の三千戸を市内のどこに建てるのかも決まっていない。現中心市街地は、スクラップ&ビルド方式で一新する案もあり、企業復興には、二年〜三年後を目標にやっていきたい」と語っていました。その後、佐藤中小企業課長の

案内で、バスの車窓から市内の被災状況を視察しました。途中、建設中の中小企業基盤整備機構の支援事業で仮設店舗施設「石巻立町復興ふれあい商店街」も車窓から視察出来ました。

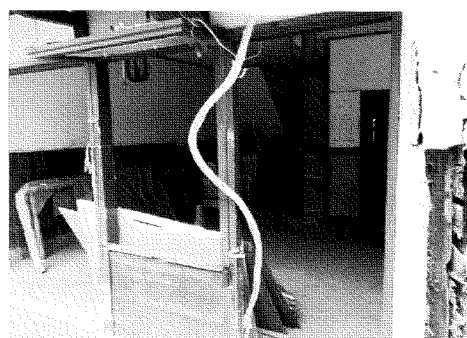


▲12月にオープン石巻立町復興ふれあい商店街へ21店舗が入店



▲新春講習会

研修に参加した女性部員は、震災後の津波による家屋の一階部分が全くない廃棄化した住宅や積み上げられた瓦礫等を見て、車窓から改めて被災地域の現実を目の当たりにし、言葉を失った様子。矢板市も被災地域ではありますが、まだまだ平穏に生活できていることを感謝する研修になりました。これからも女性部で各種研修を実施していきます。

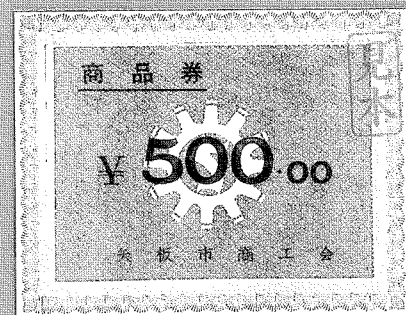


▲中心地の店舗1F部分

平成二十四年一月二十五日には、ベルパエーゼにて毎年恒例の新春講習会を開催して爪楊枝入れを作成し、和気あいあいの内に終了しました。

商品券使用期限のお知らせ

平成24年11月末日まで



これらの全ての商品券が対象となります。

- ※ 永らくご愛顧頂いて参りました矢板市商工会の商品券の販売を終了させて頂きます。(平成23年7月末日)
- ※ お手持ちの商品券のご利用につきましては、使用期限内に取扱店にてお早めにご利用下さい。

お問い合わせは矢板市商工会 (43) 0272



- 企業組合 つつし亭 柳田 実 勝
- 星野土木(株) 星野 庄一
- 道の駅やいた農産物直売所組合 福田 勝
- 菊地 仁
- (株)北綾 大島 政明
- 小さな葬儀社 中山 宜弘
- (株)エイチエス 沢田 英彦
- (株)ヤマハギ矢板営業所
- 小口自動車 小口 恵三
- ウインペーカー 澁井 勝
- 栄屋テント 長 三雄
- 塚原 茂
- 事業所名 代表者名(敬称略)

こんにちは 新会員さんの紹介

平成二十三年六月十五日、平成二十四年一月十六日まで新しく会員になられた方をご紹介します。

商工会青年部

震災に関する困り事 相談会開催

矢板市商工会青年部(八木澤和良部長)では、平成二十三年十二月二十六日暮市会場内(有ア)クツ電器駐車場にて、「震災でお困りの方 大相談会」を開催しました。この催しは、青年部が原点に立ち、少しでも地元の役に立ちたいとの思いがあり、会議にて喧々諤々と検討した結果実施に至ったもの。当日は、

また、とん汁のチャリティ販売を商工会女性部(宮崎征子部長)の協力を得て実施し、売上金の全て(三六、八七六円)を、東日本大震災義援金として矢板市へ寄付しました。今後も商工会青年部では、若い力と幅広いネットワークを活かし地域に密着した各種事業を展開していきます。



家屋修繕や各行政手続き等の相談が出来た他、市健康増進課の協力を得て、保健師を派遣いただきメンタル面の相談も受けられるよう配慮しました。

青色申告所得税・消費税確定申告指導相談会

会場 矢板市商工会2F会議室
平成24年3月6(火)・7(水)・8(木)・9(金)・12(月)日の
5日間

時間は、いずれも午前10時～午後4時まで
※正午～午後1時まででは休憩になります。
相談は、派遣税理士が行います。

取引先の突然の倒産!まさかのときの 資金調達先は準備していますか?

売掛金が回収できなくなった。
資金ショートで連鎖倒産してしまう...

加入し、掛金を積み立てておけば...

回収困難となった売掛金(被害額)相当の資金を調達できます。(最高8,000万円まで)

「取引先の倒産」と「商取引の事実」の確認で迅速に貸付実行。

★掛金は損金(必要経費)に算入できます。

自社のリスク
マネジメントの
ひとつとして
お考えください。

経営セーフティ共済

「経営セーフティ共済」は、中小企業倒産防止共済制度の愛称です。

平成23年10月から改正!

- ① 共済金の貸付限度額 : 3,200万円 → 8,000万円
- ② 掛金の積立上限額 : 320万円 → 800万円
- ③ 掛金月額の上限額 : 8万円 → 20万円
- ④ 共済金の償還期間 : 一律5年 → 貸付額に応じて5~7年
5,000万円未満 5年
5,000万円以上6,500万円未満 6年
6,500万円以上8,000万円以下 7年
- ⑤ 早期償還手当金の創設

●本制度の詳細内容は、パンフレット・ホームページ等を必ずご覧ください。

共済制度のお申し込みは 矢板市商工会へ 0287-43-0272

制度の運営機関: 独立行政法人中小企業基盤整備機構 TEL 050-5541-7171 (共済相談室) URL <http://www.smrj.go.jp/kyosai/index.html>